

- 今後水需要が拡大するアジア、中東等においては、下水処理水を、生活用水、農業用水、工業用水等に再利用して、水資源を生み出す取組が近年盛んになっている。経済産業省の試算によると、世界の再生水市場の規模は2007年時点では0.1兆円だったものが2025年には**2.1兆円まで拡大**する見通。
- 再生水分野では、我が国は**膜処理技術**に関して高度な技術を保有。しかし、**海外製品では廉価で粗悪なものもあり、膜処理技術自体の信頼性の低下、市場の縮小・我が国のシェアの縮小が懸念**。
- そこで、膜処理技術に関する信頼性の向上、我が国の優位技術の国際競争力の向上を図るべく**膜処理技術に関して適正な評価、表示**を行うこと等を内容とした国際標準を策定するために、**我が国(下水道部流域管理官)が主導してISOに専門委員会(TC282)を立ち上げ、幹事国**となったところ。**第1回会議は1月23日、24日に東京において開催予定**。
- 今後、我が国が主導して国際標準化を進め、国際競争力の強化を図ってまいりたい。

TC282でIS化が期待される膜処理技術



MF膜(平膜)のユニット



MF膜(セラミック膜)

- 下水を膜を透過させ処理する**膜分離活性汚泥法(MBR)**により良質な水質の再生水を供給することが可能。
- 我が国の膜処理技術は**膜の口径の均一性や省エネ性能等**において海外製品に比べて優位

第一回TC282について

第1回TC282開催概要

日時: **平成26年1月23、24日**

場所: **科学技術館(東京都千代田区北の丸公園2-1)**

内容: **水の再利用に関する国際標準格策定に向けた基本方針に関する議論**

会議出席者・国(予定):

議長 Israel SII(standard institute israel) Naty氏
国際幹事

Japan JISC (Japanese Industrial Standards Committee) 千葉氏
China SAC (Standardization Administration of China) Huang氏
メンバー国 Austria (ASI)、Canada (SCC)、China (SAC)、Czech Republic (UNMZ)、Egypt (EOS)、Ethiopia (ESA)、France (AFNOR)、Germany (DIN)、India (BIS)、Israel (SII)、Japan (JISC)、Korea, Republic of (KATS)、Mongolia (MASM)、Peru (INDECOPI)、Portugal (IPQ)、Spain (AENOR)、United States (ANSI)、Viet Nam (STAMEQ) 計18か国